

ScienSpiritual

サイエンススピリチュアルマスター講座
オンラインスクール

第四章

自己を覚醒させる
前提条件の心と体を整える手法とは

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

さて、それでは『自己を覚醒させる
前提条件の心と体を整える手法とは』を
レクチャー申し上げます。先ず“自己を覚醒”
とは、正に“霊的世界”スピリチュアルに
おける直感力・スキャン能力であり、
それは、人生や生活と言った“現実世界”に
おいて、あなたやあなたの大切な人達を
手助けしてくれる『特殊な能力…』と

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

言われておりますが、実は人間 誰しも
生まれ備わった機能であり、あなたの
その脳内にも確実に装備されている
私流に言えば、原始的かつ
動物的な本能であり、文明の進化により
退化してしまった能力であると
私はそう強く感じております。
また、この直感・スキャンと言う能力は、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

先にも申し上げた様に、人間の脳内に
備わっておると強く感じており、
更に、人間の脳とは1割の意識と
9割の無意識で動き生きている事を
私も私の関係者である脳科学者も
そう強く感じておる次第であり、その9割の
無意識の領域の中に、直感・スキャンと言う
能力は在しておると強く感じております。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

皆様、1割の意識・9割の無意識とは、
一体、どの様なものだ
と思われますでしょうか？それは、
分かりやすく申し上げますと
例えば、皆様の手をお顔の前で
手で何かを払う様にされて下さい。
今、行なわれた動作は、
意味は分からずとも（笑）

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

私の言われた通り、ご自身達で
意識的に行なって下さった動作であり、
これが先に申し上げた
1割の意識なんです。
次に、想像して下さい、仮に今
ボールが突然、顔面めがけて
飛んで来たとしたら…咄嗟に
先程、行なった様な動作で、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

払い除けますよね。誰に教わったわけではなく
武道で言えば、顔面に飛んで来たボールを
サバキますよね。これが人間 誰しも脳の中
に生まれ備わっている本能なんです。

この本能と言う機能は人間の脳の中
にあり、その脳のどこに在してると
思いますか？ 一般的には大脳（大脳皮質）
における右脳と言われており、先程の

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

仮に…“ボールが飛んで来たら実験”の際、
脳の中では大脳における右脳が本能的に
「あっ！ボールが顔面に飛んで来るとるやん！
当たったらヤバイやろ…こりゃ避けな
アカンがな！」と…あなたが今 起きてる
状況を意識（認識）できぬ状態にも関わらず、
無意識の内にボールを避ける様、
カラダに指示し動かさせてるというのが

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

一般的な9割の無意識、本能の仕組みと
感じておりますが、実は私のスキャンにて
もう一つの9割の無意識、本能…いわゆる
霊的世界 スピリチュアルにおける直感
スキャンと言う本能の力が働く場所がある
ことを強く強く感じており、それは…
『小脳』です。話しは変わりますが
人間の脳は大きく分けると、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

知的思考機能の大脳、生命維持機能の脳幹、
運動制御機能の小脳の三つに分けられます。
また、大脳の神経細胞は140億個と言われて
おり、小脳は大脳の十分の一以下の大きさ
にも関わらず、小脳の神経細胞は大脳の
8倍…1,000億個と言われております。さて
ここからが皆様にお伝え致したく主軸。
それは、一般的に言われてる右脳における

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

本能とは、知識・経験による記憶・記録
されたものが無意識の内に咄嗟に出る…
と言う機能であるとそう感じつつ、
これから申し上げる お話しは、法律順守の
観点から仮説と 申し上げさせて
頂きますが、大脳に“知識・記憶”と言う
記録が無い時、はたまた何をどう考えても
全く答えが出ない時、大脳は“考える”

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

と言うバトンを小脳に委ね
小脳は、独自の答えの出し方、感覚的回答
いわゆる『直感』と言う9割の
“無意識の領域”に存在する機能から
答えを導き出します。それを現実世界

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

リアリティの視点にて、脳における
“内部モデル”と呼ばれており、それを
霊的世界 スピリチュアルの視点にて、
私は“スキャン”と呼んでおります。

また、この9割の無意識に存在する
内部モデル、もしくはスキャンと言う

いわゆる『直感』機能の発動は、
それ（脳が小脳に“考えるバトン”を渡す）以外にも

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

外界（自分をとりまくまわりの世界）から
入って来る様々な磁力（御霊や運氣などを
始めとする 様々なものが放つ 陰陽のエネルギー）
と言うデータが、大脳（大脳辺縁系）⇒
脳幹（視床下部）⇒ 小脳、と言うStepにて
伝達され、小脳に在する『直感』機能が
発動すると私はそう感じております。
ですので、自己を覚醒する…要するに

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

霊的世界 スピリチュアルにおける、
直感力・スキャン能力を覚醒させる事を
前提条件とした心と体を整えるべく
手法にて、アプローチ致す部位は…
正に『脳』です。しかし、脳への直接
アプローチは、到底不可能と同時に、
仮にそれが出来たとしても、

※ ロボトミーしかり、大変危険なものと

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

※ ロボトミー療法とは… 西暦 1935年に ポルトガルの神経外科医が
開発した 前頭葉白質切截術

なってしまいます。そこで先ずスキャンにて
降りて参った事は“香・腸・液”（こうちょうえき）
と言う三つのキーワードに御座いました。
更に続けて「香りからホルモン分泌の
司令塔である視床下部に刺激を加え、
オキシトシン や β -エンドルフィン など

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

幸せホルモンと言われる生理活性物質の
分泌を促す事が、ひいては
直感 スキャンの能力における覚醒・研磨の
サポートの一つとなりやすい」と強く感じ、
オキシトシンや β -エンドルフィンなど、
幸せホルモンと呼ばれる生理活性物質を
分泌しやすくする香りの開発に
スキャン重ね、努めて参りました。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

その結果、
フレグランス“サイエンススピリチュアル”の
完成に至れました。

※現在「サイエンススピリチュアル＜オードトワレ＞」の
生産は終了しております。

この後お勧めの活用方法のご紹介がございますが
ご自身の好きな香りのする
香水やアロマなどでも問題ございません。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

尚、スキャンにて感じた
お勧めの活用方法は、就寝時、ご自身の枕や
抱き枕、または枕元に置く
ぬいぐるみ・タオル・ハンケチなどへ
このフレグランスをお好み量ふりかけ、
香りを感じながら横になり、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

目を閉じて心静かに鼻からユックリ吸って
口からユックリ吐くと言う呼吸を
繰り返して行なわれてみて下さい。また、
この“香りを感じながら呼吸”を
行なわれる際の目安は、実践経験則上、
最低3分間から上限はなく、
ご参考までに、私の場合は自分の好きな
4分くらいの音楽一曲、掛けて聴きながら

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

抱き枕に ふりかけたフレグランスの香りを
感じつつ、側臥位（横向きの寝姿勢）にて、
呼吸法を行なっております。また、番外編と
なりますが、私の場合 一日の中で疲労や
ストレスを感じた時やここ一番 勝負！
と言う緊張がしいられるだろう場面の前、
それが例えば数時間前でもOKなので、
朝外出前に ふりかけておいたハンケチを

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

口元に持って参り、香りを感じながら、
その日のこの方法を行なうシーンに
よっては、歩きながら・電車に乗りながら
椅子に座りながらなど、どんな体勢で
あっても目を閉じれず、音楽も聞けぬ
環境であっても香りをしっかり感じ、
鼻から吸って 口から吐くと言う、
この2つが大切なので、それ（香り&呼吸）を

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

最低3分できぬ時は、例えば30秒間であっても
スキャン済え渡らせ、心と体を整える手法
として、気付いた時・出来る時だけでも
良いので必ず実践しております。
その成果は、手前味噌の自画自賛・
我田引水となってしまいますが、私が一番
よく分かっており、皆様にご伝授したい
おすすめ手法の一つに御座いました。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

尚、補足ですが、呼吸を行なう趣旨は
肺の拡散機能（肺の中の酸素・二酸化炭素のガス交換）
及び、脳内デトックス機能（脳脊髄液循環）の
活性を図り 解毒力の向上を望むと言う
いわば、サイエンススピリチュアルの哲学
健康になりたいければその妨げとなるものを祓う事
陽になりたいければ陰となるものを祓う事
を信念と致したスタイルの方法が、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

スキャンにて降りて参ったのではと、
私はそう強く感じてなりません。
ですので香りを感じ、幸せホルモンの
分泌を図る際、このデトックスを
目的と致した呼吸法を合わせて実践
される事で、それが（呼吸法が）
言うなればブースト（後押し）となり、
その（幸せホルモンの）分泌が更に、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

活性化・円滑化を望めるのではと、
重ねてそう強く感じておる次第です。

また、なぜ…

『香り』⇒『幸せホルモンの分泌』⇒『霊的世界
スピリチュアルにおける脳の覚醒&
現実世界 リアリティにおける心身の整え』
と言う方程式が望めるのか？ それは、
一般の方々に理解が“複雑・困難”と

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

ならぬ様、学術的な論理や
専門用語など割愛させて頂きつつ
分かりやすく、シンプルな形で申し上げ
させて頂きますね。先ず自己を覚醒に際し、
脳内にて分泌させるべく、オキシトシンや
β_エンドルフィンなど、幸せホルモンと
言われる生理活性物質そのものに、その
目的（自己を覚醒）を担う成分が含まれている

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

と私はスキャンにてそう強く感じ、その
幸せホルモン（オキシトシンやβ_エンドルフィンなど）
が分泌されると、後は自動的にそれが
（幸せホルモンが）血管を通じて、私は
スピリチュアル細胞の宝庫と呼んでおる
『小脳』に（勿論それ以外に全身へも）流入され、
その事により、ひいてはスピリチュアル細胞が
活性される事を強く感じております。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

幸せホルモンは、脳が生み出す
天然由来の陽の覚醒エキスと私は
そう強く感じております。但し、この私が開発した
フレグランスでなければ、ダメと言う事は
なく、皆様お好みの香りからでも
幸せホルモンを生み出す事は、出来ますので
その際、是非“気持ちが落ち着く事は勿論
気持ちが高揚する”と言う、一見、矛盾した

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

表現に聞こえるやも知れませんが、この
落ち着くと、高揚する、が表裏一体となる
感覚を得られる香りが、実はとても
重要かつ大切と私のスキャンにて強く
感じておるpointですので、是非この
感覚を感じ得られる香りを探される事も、
一つの“楽しみ”と言う趣旨の目標となり、
それこそ、陽のエネルギーを生み出せる

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

切っ掛けにもなれるのではと感じて
おりますので、是非チャレンジしてみて
頂いても宜しいかと思います。
『幸せホルモンの成分が自己を覚醒する』
と言う私のスキャンにて打ち出した
この説は、霊的世界 スピリチュアル視点
での私の答えであり、そして
『心と体を整える』と言う現実世界

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

リアリティ視点でのスキャンにて
打ち出した私の説・答えは
『香りが自律神経を安定させ心と体を整える』
と強く感じており、香りは脳の
大脳辺縁系と言う、
人間の“感情”が生み出される場所へ
ダイレクトに届き、更に大脳辺縁系は
自律神経の調節に大きく関わる場所にて、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

不快な香りは不快な感情と体調を生み出し、
心地良い香りは心地良い心と体に整えられる
と強く感じております。なぜ感情、いわゆる
心が体の調子を左右するのか…それは、
“緊張”です。緊張にも陰陽が存在する事
を感じており、例えば、好きな人から
愛されていると言われた時の緊張感と、
好ましくない人から怒られた時の

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

緊張感とでは同じ緊張感でも全く別もの
ですよね。更に、今の例えの際“陰陽の
エネルギー生み出し”で申し上げれば、
好きな人から愛してる緊張感は『陽』
好ましくない人から怒られる緊張感は『陰』
と強く感じており、そして体の中では
その（緊張感からの）陰陽によって、ある物の
“加減”が変わって参り、それは、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

ホルモンです。“陽の緊張感”の時は、
先に申し上げたオキシトシンや
 β -エンドルフィンなどの生理活性物質
幸せホルモンが、分泌、生み出され、
自己の覚醒はもとより、心と体において
高揚と言う名の嬉しい緊張感と
そこ（心地良い）に、必ずもれなく
付いて来る幸せと言う名の安心感が

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

表裏一体となった、ステキな矛盾の感覚を
得る事ができ、心と体は活性と安堵に
包まれ、頑張る神経の交感神経とリラックス
神経の副交感神経はバランスを保ち、
自律神経は均衡し、体液循環・内臓機能などの
健康を整える為の要素は活性され、
『心と体が整う』と言う状態へと導かれます。
しかし“陰の緊張感”の時は、生理活性物質とは

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

また別の“神経伝達物質”と呼ばれる
セロトニンやドーパミンなどのホルモンが、
ひいては“減少傾向”へと誘われ
自律神経は乱れやすい状態へと陥り、そして
喜怒哀楽における、怒（ど）哀（あい）に属する
感情は強まり、その結果、心と体に様々な
不調が生じて参りやすくなる事を
強く感じております。因みに

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

生理活性物質は、細胞に働き掛けるもの。
神経伝達物質は、神経に働き掛けるもの。
と記憶して頂くと、覚えやすいかもです。
いずれにしても『香』は、小脳に在ると
私が感ずる霊的世界 スピリチュアルの
細胞を活性させる生理活性物質
幸せホルモンを生み出し、自己の覚醒を
なすべく為のサポートの一つとなり、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

更に『香り』は、自律神経バランスを
保たせ、体液循環や内臓機能などの
健康を整える為の要素が活性され、
心と体が整うと言う状態へと導いて
くれる事を強く感じておる次第です。
是非、スキャンにて降りて参った“手法”
香・腸・液における『香』の巻、
騙されたと思って実践してみて頂けたら、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

心より深く幸いに御座います。
次に、自己を覚醒させる前提条件の
心と体を整える手法、
“香・腸・液”（こうちょうえき）における、
『腸』の巻は、皆様、
脳腸相関（のうちょうそうかん）もしくは、
腸脳相関（ちようのうそうかん）と言う、
言葉をご存じでしょうか。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

それは“脳と腸は互いに影響し合う”
と言う意味なんです。その証に、例えば
○ストレスを感じると お腹が痛くなる
○腸がウイルス感染すると 脳は不安に陥る
○便秘が続くと 気持ちがイライラする
○気持ちがイライラすると 便秘となる
などなど…脳と腸は脳と他の臓器の
関係性よりも実はとても深く、更に

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

例えば、ストレスから重篤な不調で
悩まれる ご相談者様のケアにおいて、
私のスキャンで降りて来るレシピの
中には、必ずと言って良いくらい
腸内ケアが含まれ、そしてそれが
私の今までの実践経験則上、確実的な
ストレス緩和に繋がる事が多々あり、と
申し上げても過言では御座いません。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

又、同じく、私の所にお越し下さる
ご相談者様のご相談の中でご家族の
認知症に関するお悩みを承る事も多々あり
その際スキャンにて…ここでは法律順守の
観点からあくまでも私の仮説と申しますが、
腸内細菌における“悪玉菌”が、
脳腸相関の定義にて『認知症』を誘発する
可能性の一つかも…と強く感じてしまい、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

いずれにせよ、認知症の方へのセルフケアに
“腸内ケア”は必ずと言っても良い程、
スキャンにて降りて参り、レシピに
含まれております。それ程、脳と腸の関係は
密接であると強く感じております。
ですので『腸内ケア＝脳内ケア』と私は、
そう位置付け、意味付けており、具体的な
私がスキャンにて感ずる腸内ケアとは、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

腸内環境における、心と体の健康を妨げる
犯人は誰かと申せば、それは…悪玉菌で
あると強く感じてなりません。
また、それ（悪玉菌が多い腸内環境）が、ひいては
脳腸相関の定義にて自己の覚醒を妨げる
負の連鎖を招く事も合わせて強く感じて
なりません。腸内環境における悪玉菌を
デトックスすれば、脳腸相関の定義から

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

心と体を整える事に繋がりつつ、更に
脳への“自己を覚醒・研磨させる”と言う
目的を網羅できる事にも繋がる事、
スキャンにて強く感じており、では
悪玉菌を征伐する為には、
一体どうしたら良いのでしょうか？
それは、腸内細菌『善玉菌』を増やせば
自動的に悪玉菌をデトックス出来て

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

しまうんです。明確に申し上げれば、
腸内細菌とは、大きく分けて
善玉菌・悪玉菌・日和見菌の
3タイプとご記憶下さい。名のごとく
善玉菌は健康に良き腸内細菌。
悪玉菌は健康を妨げやすい腸内細菌。
しかし、日和見菌は…
どっち付かずのある意味お調子いい

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

腸内細菌で、善玉菌が勝ち始めると
善玉菌に付き、悪玉菌が勝ち始めると
悪玉菌に付き、まるで一部の人
間社会の縮図…と思ってしまうのは、
私だけでしょうか（笑）尚、腸内細菌に
おける善玉菌・悪玉菌・日和見菌の、
黄金比と言うのが有りまして、一見
「善玉菌だけなし！悪玉菌ゼロの

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

腸内環境を！がベストじゃないの？
だって悪玉菌は腸内で有害物質を作り、
腸内の腐敗を進めたり、炎症を起こしたり
発がん性物質をも作り、免疫機能の低下を
始めとする様々な不調を齎す
わけで…悪玉菌ゼロがベストでしょ？」と
思ってしまいますよね。しかし悪玉菌には
ある重要な役割分担もあり、それは、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

肉類などのたんぱく質を分解し、便として
排泄処理すると言う、
動物にとってなくてはならないもの、
それを悪玉菌が担っておるのも事実です。
私流の例え表現で大変 恐縮ですが…
「決して良い奴ばかりじゃダメ…」
必要悪と言う言葉がある通り、
これまた“社会と健康は…同じ？”と（笑）

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

思えてしまいますね（笑）さて、お話しは
腸内細菌における“黄金比”に戻りますが、
腸内細菌の全体を10と致した際、善玉菌が2
悪玉菌が1 日和見菌が7と言うバランスが
ベストと感じており、では、どの様にして
その黄金比を体現して行くのか？私の
“お勧め方法”は、
“ゼンダマン”の勧めに御座います。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

腸内細菌において、善玉菌が増えるか、
悪玉菌が増えるか、そこが勝負であり、
大袈裟に申し上げさせて頂ければ、
『腸内環境⇒自己の覚醒&心と体の健康⇒
人生が陰となるか陽となるか決まる』
と私はそうスキャンにて強く感じており
かと言って善玉菌を増やし、より黄金比に
近付けるべく、腸内環境を作る事は決して

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

難しい事ではないんです。何故ならば、
腸内細菌は、その餌となる成分を
飲食と言う手段でお腹に入れてあげる
だけで反映されるとてもシンプルなもの
なんです。ですので例えば、乱れ偏った
食生活がそこにあれば、
悪玉菌は直ぐに増えて行き、あなたの健康を
脅かす結果と至りやすくなり、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

逆に、善玉菌を増やす為のテクニックは、
勿論、栄養バランスの良い食生活が大切な
事は言うまでもありませんが、それだけでは
私のスキャンと同時に実践経験則に基づき
善玉菌が増えて行くスピードは、
スローであったり、また食生活は良くとも
ストレスと言う名のメンタル環境に乱れが
生じると脳腸相関の定義から善玉菌は

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

通減（ていげん／次第に減って行く事）して
しまう事も強く感じており、更に私の
スキャンと同時に二十年以上、三万人以上の
カウンセリングを通し、結果論にて得た事は
善玉菌を増やし、黄金比を手に来ると
ストレスに対するメンタル抵抗力も向上する
事を感じており、結果、善玉菌は通減
しづらくなる傾向を私のスキャンの見解では

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

御座いますが、そう強く感じつつ、
ご相談者様における結果が全て物語って
いると強く感じてなりません。善玉菌を
スピーディーに増やし、腸内細菌における
黄金比を手に来す為に善玉菌の餌
となる成分を摂取するべく、私のお勧めで
あるゼンダマンを是非お試し頂けたら
幸いに御座います。法律順守の観点から

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

一日どれくらい、どのタイミングで飲めば
良いか、どのくらいの期間で善玉菌が
増え、どれくらいの期間で黄金比を
手に来るかなど申し上げる事は
出来ませんが、ただ、あくまでも私の場合
と言う事でお話し致したくと思いますが、
私は就寝前に5粒、水やぬるま湯、
牛乳や豆乳などで、飲んでおり、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

時にラムネを食べる様にゼンダマンを
噛んで味わいながら最後に水や牛乳などを
飲むと言う形で実践する時も御座います。
また、善玉菌が増えて来たな、黄金比と
なって来たな、と感じる指標は、おトイレに
おいて、便の状態がバナナ状で黄色っぽい
茶色の便となり、近年、医学の世界でも
注目・研究が進んでいる、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

『腸内を弱酸性に保つ事で悪玉菌の増殖を
防ぎ、腸内炎症の予防や免疫機能の調整
など様々な健康効果が期待できる』
と言う医学的見解にもある様に
それ（黄色っぽい茶色の便）は、善玉菌が多くの
酸を作ってくれている証とスキャンにて
強く強く感じており、更に腸内細菌の
比率が黄金比になって来たかなと

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

感じられる指標は、私の場合、感覚的な
ものとなり大変 恐縮ですが、明らかに
ストレスを感じにくく、落ち着いた心持ちで
頭の回転がとても良くなる事を実感でき、
そしてスキャンが異常な程鋭くなる。
と言う事をやはり明らかに体感でき
便の状態や心の状態、そしてスキャンに
良き変化が帯びてきたなと実感できたのは

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

私の場合、ゼンダマンを飲用してから、一週間も掛からなかった様な記憶があります。勿論、他の方（ご相談者様）ではもともと腸内環境が乱れに乱れていたり病や薬によって乱れていたりと言う元々の状態があり、私と同じ実感を得る迄に3ヵ月くらいを要さざるを得ぬ方もおられますが、いずれにせよ、私や

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

ご相談者様の実体験に基づき、善玉菌を増やし、腸内環境を整える事が、“自己を覚醒させる前提条件の心と体の整え”手法における一つの方法としてベストと強く感じつつ、自信を持ってお勧めしたく、その手段として、ゼンダマン攻撃は重ねてお勧め致したく、そう強く感じております。勿論、ゼンダマンでなければダメ、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

と言う事では御座いません。その他世に有る善玉菌を増やす方法や腸内環境の比率を黄金比にして行くとされる様々な方法をお試し頂けたらとそう思っております。いずれにしても、普段の食事や精神環境を整えると言う事だけでは、中々善玉菌を増やすと言う事は難しいとスキャンにて感じた中で、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

善玉菌をスピーディーに増やし、続けて行く事で自動的に黄金比となれる方法の一つとしてゼンダマンがそのお勧め方法の一つと感じつつ実践して頂く事で、この度の章における目的である“自己を覚醒させる前提条件の心と体の整え”に繋がる事を重ねてスキャンにて強く感じました次第に御座います。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

是非、騙されたと思って実践チャレンジして頂けたら心より幸いに御座います。最後に、香・腸・液における、液に御座いますが、皆様あらためて体液とは何と何を示す総称だと思えますか？それは、血液・リンパ液・脳脊髄液の3種に御座います。血液やリンパ液は、全身に流れている事はご存じですよね。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

しかし脳脊髄液は、一体どこに流れていて何の役目をしているのか…意外に知らぬ方も多いのではと思われます。先ず、分かりやすく申し上げますと、脳脊髄液は脳と背骨の中を循環しているブドウ糖・たんぱく質・ナトリウム・クロールなどの成分が含まれた無色透明な液体であり、脳や脊髄に栄養を供給したり、二酸化炭素や

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

乳酸などの代謝産物、いわゆる老廃物を
洗い流しデトックス施してくれる、
人間の心と体の健康は基より、
霊的世界 スピリチュアルの送受信基地
『脳』にとっても重要な役割を担っている、
私流に申し上げれば、自動『脳』クリーン
システムであると私はそう強く
感じております。この脳脊髄液の循環が

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

悪くなって来ると、例えば
頭部の浮腫・頭痛や吐き気・めまい耳鳴り・
自律神経の乱れ・ホルモンバランスの乱れ・
鬱・不眠・動機や息切れ・
低体温・痺れ・思考能力の低下・
感情起伏の乱れ・発想力の低下…
等々、様々な症状が出現して参ります。
勿論、スピリチュアル視点においても

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

陰のエネルギーになってしまい、更なる陰を
引き寄せてしまったりなど、いずれにしても
霊的世界・現実世界両方において、様々な
事象・症状が突出し、それこそ運氣や健康は
もとよりスキャン能力さえも大きく低下
してしまう程、脳脊髄液の役割は、大変 重要
と言う事が分かりますよね。また脳脊髄液
循環が、病気や事故など特別な理由以外、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

日常生活の中で、循環が低下する要因を
スキャン致すと、メンタル的ストレスや
肉体的疲労によって、ある部分が緊張・
硬結（こうけつ／硬く強張る）してしまい、呼吸が
浅くなり、脳脊髄液循環を妨げる可能性が
高い事をスキャンにて強く感じており、
因みに、血液は心臓により、
リンパは筋ポンプ作用により、それぞれ

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

循環しており、脳脊髄液は分かりやすく
シンプルに申し上げますと、呼吸によって
頭蓋縫合と言う頭の骨の
割れ目がズレ動いてくれたり、背骨の
土台となる骨盤部分にある仙骨と言う
骨が動いてくれ、ポンプの役目となり、
脳脊髄液は循環する事が出来ます。
しかし先に申し上げた、ある部分が

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

緊張・硬結（こうけつ／硬く強張る）してしまうと
呼吸が浅くなり、頭の骨や仙骨による
ポンプ作用が弱くなり、循環低下を招く事を
強く感じてならず、その、ある部分とは…
胸郭です。胸郭とは人間の
胸部にある籠状の骨格です。
それは、胸椎12個・
肋骨12体・胸骨1個で構成され、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

心臓や肺など、重要な臓器を保護する役割や呼吸運動を行う役割も担っております。

ですので、逆に言えば、胸郭の動きが円滑になれば、呼吸も充実しつつ、脳脊髄液も円滑に循環し、ひいてはスピリチュアル能力の基地となる『脳』のデトックスは基より自律神経の安定や血流・リンパ流などの循環も

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

スムーズとなり、正に自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える

と言う目的を成す為のサポートの一つになれる事をスキャンにて強く感じております。では、それを体現するべく方法とは…皆様へスキャンにて開発致したある手技をご伝授申し上げたく思います。

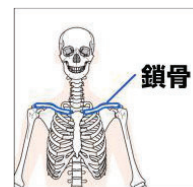
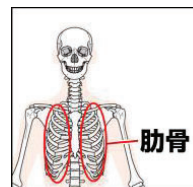
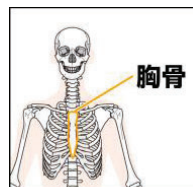
自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

先ず、Step①『削り打ち』右手・左手、どちらでも良いので指の第二関節を鋭角に突起立たせる形で構えて下さい。この手形を“削り打ち”と言います。



自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

次に、Step②『胸骨・肋骨・鎖骨へ打つ』どの順番でもOKですので、今回は胸骨 ⇒ 肋骨 ⇒ 鎖骨 の順番で参りましょう。では胸骨から、



自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

胸の真ん中に縦に骨が走っているのが、分かりますでしょうか。その骨へ先程、Step①で覚えて頂いた手形削り打ちを行なって参るのですが、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

手の指における接着点の目安は、人差し指・中指の第二関節を胸骨に接着し、イタ気持ち良い程の圧力を加えながら、



自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは



お勧めは、
“縦摩擦”で
アプローチ致します。

このベクトルがお勧めなのは、
純粹に摩擦しやすい
と言う事が理由に御座いますが、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

しかし今までの実践経験則上、人によっては
この様に“横摩擦”もしくは“円摩擦”
でのアプローチもOKですし、



肋骨・鎖骨下筋も同様に摩擦を行います

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

また親指の第一関節を鋭角に胸骨へ接着し、
イタ気持ち良い程の圧力で
縦摩擦・横摩擦・円摩擦、どのベクトルで
アプローチして頂いてもOKです。



自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

更に、
手指の第二関節に不安がられる方は、
人差し指の一本・中指の一本、
もしくは親指の一本でもOKですし、



はたまた
手指でも良いので
指紋の所を胸骨へ接着し、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

イタ気持ち良い程の圧力で縦摩擦・
横摩擦・円摩擦、どのベクトルで
アプローチして頂いてもOKですので、
最低30秒間から上限はなく行なって
頂けたら幸いに御座います。

まずは、あなたが行ないやすい手形を
発見して参りましょう。人差し指・中指の

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

第二関節か、親指の第一関節か、
それとも、指紋の所か、
是非一通り試してみてください。

自分にベストな手形が分かりましたら
次に、摩擦のベクトルにおいても
自分にベストなベクトルを発見して
みましょう。縦摩擦・横摩擦・円摩擦、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

こちらも是非一通り試してみてください。
では、そのあなたにとってベストな
手形とベクトルで、イタ気持ち良い圧を
加えながら30秒間、摩擦を
一緒に行なってみましょう。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

痛いと思われた方は、結構、呼吸が浅く
脳脊髄液循環に滞りがあったやも
知れませんよ。この方法は、一日 最低1回
上限なく、また就寝前がお勧めと
スキャンにて感じております。それ（就寝前）

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

以外にどのタイミングであっても良いので
呼吸が浅いと感じた時や苦しいと感じた時、
または何もなくても気が付いた時に
何度、行なって頂いてもOKですので、
是非、実践して頂けたら心より幸いです。
次に、左右の『肋骨』へ今と同じ様に
摩擦を施して参りたいと思いますが、
手形・ベクトル共に、あなたにとって

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

ベストなものを一通り試しつつ発見して
参りましょう。肋骨へのアプローチは
胸の下、横一直線上のラインとなります。
まずは、私がお手本をお見せしつつ
一緒に行なって頂き、あなたに ための
ベストを発見して行きましょう。まずは
左右どちらから行なって頂いてもOKですが、
左の肋骨から参りましょう。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

アプローチ致す場所ですが、先にも
申し上げた通り、胸の下、横一直線上の
ラインとなります。



自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

次に手形ですが、人差し指・中指の
第二関節で行なう場合、
左肋骨は 左手で、右肋骨は 右手で、



自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

今は摩擦のベクトルは置いときまして
行なわれると
アプローチしやすいかと思います。
また、親指の第一関節で行なう場合も同じく
左肋骨は 左手で、
右肋骨は 右手で、行なわれると
アプローチしやすいかと思います。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

尚、指紋の所で行なう場合は、
左肋骨は 右手で、右肋骨は 左手で、
と言う様に交差法を用いて
後ろから前に削り流す様に行なわれると
アプローチしやすいかと思います。



自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

それでは、今はどんなベクトルでも
OKです、人差し・中指の、第二関節
もしくは親指の、第一関節
もしくはどの指でもOKなので
指紋の所を使って、
イタ気持ち良い程の圧力を加えながら、
一通り左右に試してみてください。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

そう致しましたら
今、発見できましたあなたにとっての
ベストな手形にて縦摩擦・横摩擦・円摩擦
イタ気持ち良い程の圧力を加えながら、
一通り左右に試してみてください。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

あなたにとってベストな
ベクトルが発見できた所で、
一緒に行なって参りましょう。こちらも
最低30秒間から上限はなく、また
一日 最低1回、上限なく、こちらも
就寝前がお勧めとスキャンにて
感じており、それ（就寝前）以外に
どのタイミングであっても良いので、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

呼吸が浅いと感じた時や苦しいと感じた時
または、何もなくとも気が付いた時に
何度行なって頂いてもOKです。それでは
左右どちらから 行なって頂いてもOKですが
今は左からあなたにとってベストな手形と
ベクトルでイタ気持ち良い圧を加えながら
30秒間 摩擦を行なって参りましょう。

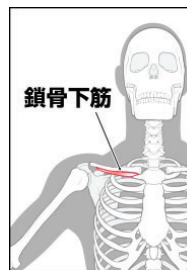
自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

次に右の肋骨へ
アプローチして参りましょう。
こちらも痛いと思われた方は
やはり呼吸が浅く、脳脊髄液循環が
知らず知らずの内に滞っていた可能性が
あるかもですよ。
それでは削り打ちによる呼吸を充実させつつ、
脳脊髄液循環を充実させる方法、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

ラストは、左右の“鎖骨下筋”と言う場所です。

まず、その（鎖骨下筋）場所は皆様、



左右どちらでも良いので
ご自身の鎖骨の下、
骨際あたりを
鎖骨のラインに沿って
触れてみて下さい。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

この鎖骨下の横一直線上に在る筋肉が、
鎖骨下筋（鎖骨下筋群）と言われる所です。
ここへのアプローチは、先ず手形に関しては
人差し指・中指の第二関節、もしくは、
親指の第一関節、またはどの指でも
良いので指紋の所、いずれの3種から、
あなたにとってベストな手形を
発見して参りましょう。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

この鎖骨下筋へアプローチする際のpointは、
左の鎖骨下筋へは右手で、
右の鎖骨下筋へは左手で、
と言う交差法を用いて行なわれる形が
“やりやすさ”と言う趣旨でお勧めです。



自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

では、あなたにとってベストな手形を発見する
べく、一通り試してみましよう。

自分にベストな手形が分かりましたら
次に、摩擦のベクトルにおいても
自分にベストなベクトルを発見して
みましょう。縦摩擦・横摩擦・円摩擦、
こちらも是非一通り試してみて下さい。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

では、そのあなたにとってベストな
手形とベクトルで、イタ気持ち良い圧を
加えながら30秒間、先ずは左側から
摩擦を一緒に行なってみましよう。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

次に右側へ、同じく
イタ気持ち良い圧で30秒間
摩擦を一緒に行なってみましょう。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

こちらも痛いと思われた方は、
意外に ご自身で気が付かない内に
呼吸が浅く、脳脊髄液循環に
滞りがあったかも知れませんよ。
この方法も、一日 最低1回、
上限なく、またこちらも就寝前が
お勧めとスキャンにて感じております。

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

それ（就寝前）以外にどのタイミングで
あっても良いので、呼吸が浅いと
感じた時や苦しいと感じた時、
または何もなくなるとも気が付いた時に
何度行なって頂いてもOKですので、
是非実践して頂けたら心より幸いです。
只今、実践して頂いた

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

胸骨・左右の肋骨・左右の鎖骨（鎖骨下筋群）
どれも、本来、脳脊髄液の循環ポンプと
感ずる頭蓋や仙骨には直接施さず、
深い呼吸が行なえる様にその妨げと
なりやすい部分の緊張を解除する事で、
脳脊髄液循環の活性を図り望めると
スキャンと同時に多くの臨床経験に基づき、
皆様にもアドバイス申し上げさせて

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

頂きました。『陽になる為には、
陽となるものを取り入る前に
陰となるものを排除する事が大切』
それは、健康も運氣も全てにおいて
そのサイエンスピリチュアルの方程式が
当てはまる事を自惚れやも知りませんが、
私はそう強く感じてなりません。
さて、この章の目的である

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

自己を覚醒させる前提条件の
心と体を整える手法とは
における私からの提案は、
スキャンにて降りて参った
“香・腸・液”（こうちょうえき）
と言う香りから・腸の活性から・
脳脊髄液の循環から自己の覚醒&
心身の整えテクニックとして

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

実践してみて頂けたら心より深く
幸いに御座います。理想は、この
香・腸・液の三つを就寝前を基本とし、
それ以外のタイミングでも実践して
頂けたらベストと感じており、しかし、
その理想形での実践がままならなくとも
大丈夫です。どれか一つからでも、
また、毎日できず何日おきかに一度しか

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

出来なかったでも良いです。
まずは、この様な手法を旭太郎から
教えてもらったと言う記憶を脳に留め
やってみようかな…と言う
気持ちになったり、
一回だけど試してみたよ…と言う
チャレンジ精神であったり、
まずはそこから覚醒や・心身の健康、

自己を覚醒させる前提条件の心と体を整える手法とは

いわゆる『陽』は始まるのだと、
私はそうスキャンにて
強く感じております。安心して肩の力を
抜いて、むしろ楽しむくらいの気持ちで
実践に励まれて下さいね。